

# 交流を追い白球

# 国 労 水 戸

**国労水戸地方本部**  
 水戸市中央1-1-11  
 ENYビル2F  
 029-221-4008  
 発行責任者 菊池忠志  
 編集責任者 坂本公則



新緑深まる5月15・16日、都内「大井ふ頭中央海浜公園・野球場」にて、第14回国労東日本本部軟式野球大会が開催されました。東日本本部管内から、秋田・盛岡・仙台・新潟・高崎・水戸・千葉・長野・東京地本A・東京地本Bが参加し総勢200名(選手団・審判団・大会役員)が交流を図りました。

主催者を代表し東日本本部松井委員長は、現在、組織として組織拡大を中心に闘いを進めています。今大会に他労組も含め多くの選手が参加されています。親睦と交流を深めて頂きたいと挨拶を行いました。選手宣誓は長野地方本部が行い、五月晴れの大空に響きわたる二日間

## 善戦健闘するチーム水戸

チーム水戸は、初戦に新潟地方本部チームと予選一回戦が行なわれました。初戦のバッテリーに、根本浩臣投手と富田繁昌捕手を起用しました。強豪の千葉地方本部チームは、投打が噛み合い根本浩臣投手を苦しめました。

一方、チーム水戸は普段の練習不足もあり打撃・守備等で荒さが見られ、暑さとの闘いもあり中盤から後半にかけて、得点を与え初戦を飾ることが出来ませんでした。

予選一回戦・第二試合



職場・地域の活動に自信を持ち、引き続き、組織拡大に全力をあげよう！

目は、東京地方本部Aチームと対戦しました。チーム水戸は初戦の疲れから、根本浩臣投手から亀岩・益子投手へと変更し力投しが、中盤からは投手陣が崩れはじめ東京Aチームに攻め込まれました。

チーム水戸は、一回から点数が得ることが出来ず、中盤から疲れも見られ一気に突き放され惜敗しました。

試合途中にアクシデントもありましたが、他の地方本部とも交流も深め合うことが出来ました。選手の皆さんで苦労様でした。

- チーム水戸地本
- ・ 総監督 赤沼廣行
  - ・ コーチ 坂本公則
  - ・ 主将 根本浩臣
  - ・ 選手 富田繁昌
  - ・ 選手 岡本高明
  - ・ 選手 出羽正則
  - ・ 選手 亀岩広明
  - ・ 選手 永山 徹
  - ・ 選手 河野広道
  - ・ 選手 菊地 悟
  - ・ 選手 益子広道
  - ・ 選手 田川耕一



十三回大会までの歩み 東日本本部軟式野球大会は、1993年5月から始め今回で14回を数えました。大会は審判団も含めて組織内で揃え、手作りの大会としています。近年は組合員の年齢も増し、地方本部によってはメンバーを確保することが大変です。しかし、最近では他組合員の方も参加し大会を成功させて来ています。